平成28年度　三島地域ふるさと創生基金事業 審査結果

審査結果順位	事業名	提案団体	事業内容（概要）	事業費	自己資金	要望額	審査額	質疑応答	委員講評
1	陸前高田に『笑顔』を届けようプロジェクト	脇野町小学校	陸前高田市広田町での交流活動ほか	700,000	150,000	550,000	550,000	Q.来年度6年生の人数は？ A.64人 Q.予算で参加人数が45人となっているが？ A.総勢90人で訪問したい。ふる創と夢企画で陸前高田訪問したい。ふる創は１台分の申請となる。 Q.花火の打上費用はどこから出ているか？ A.募金活動（計8回）で、今年は54万円集まった。 Q孫が6年生で、訪問して喜んでいた。是非、継続してほしい。 A.とりあえず３年間でお願いしたが、H29年度以降も継続したい。	・継続ありきで、提案は考えてもらいたい ・来年度以降の継続性に少し不安を感じる。 先生方の異動に左右されることのないようお願いしたい。 ・予算の増額をしても良いのでは？ ・子供達が8回もの募金を募って花火代を出したという事は大変なご苦労だったと思う。ご指導にあたられた先生方のご苦労も大変だったと思う。今後も活躍に期待します。 ・被災者がとても勇気づけられたという事を聞くととてもうれしい。是非、継続して頑張っていただきたい。 ・今後も継続してほしい。
2	三島の魅力情報発信と販路開拓事業	三島地域認定農業者連絡協議会	第四銀行日本橋ブリッジでの三島の特産品販売による新たな市場開拓と対面販売による消費者ニーズの把握等	646,000	116,000	530,000	530,000	Q.備考欄1番目の具体的な説明をお願いします。 A.今後の検討課題の一つである。ＤＭ等お客様が簡単に意見を言えるなど、次回につなげられることが大事で皆さんの知恵を借りながらやっていきたい。１回限りではなく、継続していくことが大事だと思う。今回はその第一歩。 Q.三島の旨い米があることが一部の人しか知らないのでＰＲしてほしい。しかし、東京に行ってＰＲしなければならないのか？三島や長岡でのＰＲは？みしま観光協会との連携は？ A.三島産業まつりで餅つきとセットで米を配布した。長岡地域では、新聞等で三島の米は美味しいと報道されているが、今後のイベントに参加したい。東京でのイベントは効果が大きい。イベントには1日1,800人位来る。日本橋は県の物産館などがあり、色んなお客様が来る。	・三島の米がどこで買えるのかわからない。 ・三島の米は全般的においしいのか？ ・三島の米をブランド化できないか？ ・リピーターとして、追加注文できるかが重要な鍵 ・三島の特産品をＰＲする事はよい事。頑張って頂きたい。 ・旅費が高すぎるのでは？検討の余地があると思う。
3	三島特産品のネットショップ出店検証事業	みしまふるさと塾	ネットショップ活用による販路拡大のための検証等	380,000	0	380,000	380,000	Q.管理委託料が37万とあるが、そんなに掛るのか？ A.ネットを見るだけなので、商品をどうみせるかなど、見て価値を知ってもらう必要がある。はじめてやる人は全くどうしていいかわからないので、指導を含めてやってもらう。検証事業なので、最後どうだったかという所が一番の意義なので、全て専門家にお願いした方がいいということである。 Q.ネット検証と販路開拓が同じような事業で、予算を2つに割ったような感じであるが、整合性は？ A.目的は一緒であるため、２つの団体と共通して取組めることもあるので、連携していきたい。	・是非良い結果を残してもらって、H29年度以降の事業につなげて欲しい。 ・認定農業者と事業内容が同類の物が多いように思うので、両者で話し合いをすると良いと思う ・ネットの世界は変動が激しいと思うが継続をどうするか。多勢の目に触れることはとても良い事だが、体力が必要。 ・ネットショップで三島がアピールできれば非常に良いが、自者製品の販売が主目的になるような補助金はどうか？ ・私の年代ではネットショップでの出店はピンとこなくて、よくわからない。 ・検証事業について、具体性がない。 ・直接話が聞きたかった。
4	首都圏みしま会：ふるさと交流事業	首都圏みしま会	首都圏会員と三島地域・長岡市の交流事業と首都圏ニーズの把握による三島地域ＰＲ手法の検討等、経済の活性化及びコミュニティの活性化	1,109,700	719,700	390,000	340,000 ▲50,000	Q.首都圏みしま会という組織についてと事業実施にあたり、どのように募集をかけるか。概略説明を。 A.会員数現在93名、交流会の参加資格はみしま会会員及び親族。交流会の参加人数は今年24名。今年新規加入が1名。会員の高齢化が進んでいる。自然減のため、会員増に向けて同級会等でＰＲしたい。来年度は会員増が目標。新成人を取り込んで、認知度を上げたい。 Q.地元参加者が15人であるが、どう募集する？ A.昨年は地域委員・区長中心に案内。来年度は、ＰＲして広く募集したい。みしま会の認知度も上げていきたい。	・首都圏みしま会の存続意義がわからない。なくしても良いのでは？ ・会員募集活動に力を入れる必要がある。事業活動の様子をもっとアピールしないと、三島在住の方にも理解・浸透が期待できない。三島に帰ってくる機会の点を考えれば、とてもよい事業。 ・交流会をするよりも、他のＰＲ方法で入会者の募集をしたらどうか？各家庭に紹介カードを配るなど。 ・よく理解できなく、創生基金事業を使う事自体わからない。
要望額合計				2,835,700	985,700	1,850,000 (A)	1,800,000 (A)		
平成２８年度補助金額						1,800,000 (B)	1,800,000 (B)		
過不足額　（A）－（B）						▲ 50,000	0		

【要望事業の審査方法について】

４団体の事業要望額の総額が１，８５０，０００円に対し、平成２８年度補助金額が１，８００，０００円でることから、実行委員による採点方式による選考を実施し順位を決定。順位の高い団体から要望額通り事業を採択。４番目となった首都圏みしま会が、要望額から不足額を差し引いた額で事業が実施できる事を確認し、提案のあった４事業全てを採択。

【平成２８年度予算（案）】

●平成２８年度三島地域予算配分額　１，９８０，０００円
・補助金額　１，８００，０００円
・実行委員会経費　１８０，０００円